

特別支援学校における自立と社会参加をめざした 進路指導と就労支援

—附属特支におけるキャリア発達を促す授業づくりとネットワークの構築—

企画者	尾高 邦生（東京学芸大学附属特別支援学校）
司会者	尾高 邦生（東京学芸大学附属特別支援学校）
話題提供者	永井 崇雄（熊本大学教育学部附属特別支援学校）
	佐野 哲広（静岡大学教育学部附属特別支援学校）
	岸本 信忠（岡山大学教育学部附属特別支援学校）
指定討論者	丹野 哲也（文部科学省）
	橋本 創一（東京学芸大学）

KEY WORDS: キャリア発達 進路指導 就労支援

【企画趣旨】

近年、知的障害者の雇用が増え、特別支援学校高等部卒業段階での企業等への就職率も徐々に増加しつつある。また、福祉的な就労においては、生徒に応じた福祉サービスの利用も進んでいる。これらの要因として、企業の理解が進み、職域などの拡大も含めて雇用の機会が増したこと、福祉制度の変更に伴い、利用者のニーズに応じたサービス提供が増えてきたこと、特別支援学校におけるキャリア教育や職業教育の充実などが挙げられる。

しかし、このような取り組みは緒についたばかりであり、また、就職後の定着や継続については課題も散見される。知的障害者の社会的自立に向けた取り組みは、今後さらなる充実が求められてくると考えられる。

各地の国立大学附属特別支援学校には広域から多様な生徒が通学してきており、より広域で多種にわたる関係機関連携が求められてくる。加えて、多様な生徒に応じた進路指導・就労支援も必要となる。小規模校という特徴や、大学附属という機能・設置面での独自性、研究開発校としての役割もある。

そこで、本シンポジウムでは、各附属特別支援学校における進路指導と就労支援について、進路に関連する授業や作業学習、現場実習などの生徒に対する直接的なアプローチと、機関連携しネットワークを構築することで円滑な社会への移行に結び付けるといった生徒にとっての間接的なアプローチに注目し、社会的要請やキャリア発達の視点もふまえた今後の進路指導・就労支援のあり方について検討する。

【話題提供者の趣旨】

キャリア教育・就労支援等の充実事業の成果（永井崇雄）

本校は文部科学省の「キャリア教育・就労支援等の充実事業」を受託し、重点課題を設定して実践を行ってきた。

就労支援の充実とセンター的機能の強化では、「就労サポートすずかけ」の設置や、「就労支援コーディネーター」の配置を行い、一人一人に応じた職場開拓及びマッチングの実施や、関係機関との連携強化につなげた。また、進路先との移行支援及びフォローアップの可視化により、就労までの過程の明確化や移行支援ミーティングによる関係機関との目標や支援等の共有に至った。さらに卒業生のフォローアップ体制を明確にし、卒業生の現状から教育課程の見直し等も実施した。本報告では、これらの具体的な取り組みと成果を紹介したい。

大学との連携による作業学習の実践と関係機関とのネットワークの構築（佐野哲広）

本校高等部の一学年は8人程度と小規模だが、実態差が大きい。そのため、市内5つの高等部等で構成され、企業や福祉事業所との会合や職場開拓等をもとに行う「進路担当者連絡協議会」が、情報収集や関係機関との連携に大いに役立っている。実践においては、大学をはじめとする研究機関とのつながりを活かし、作業学習においては大学教授の協力のもと、職業リハビリテーションの考え方を取り入れた実践を重ねてきた。目標設定、点検やメモ帳の活用等の指導方法、日常的なメモリーノートの活用等にその成果が見られる。最近では静岡大学の協力を得て作業製品の改良に取り組んだ。一方で、課題として、小規模校のメリットをいかした小学部からの成長に応じたキャリア発達支援の共有が挙げられる。このような実践についての成果と課題について報告する。

大学や職場と連携し、中・高の連続したキャリア発達を促す取り組み（岸本信忠）

中学部・高等部を連続して取り組んだキャリア発達に視点を置いた授業づくりの研究を通して、生徒が学んだことを様々な場面で発揮できる「確かな学び」を育むことを目指した授業改善に取り組んだ事例について報告する。

岡山大学や職場と連携し、中学部から高等部卒業まで、段階的にそれらのリソースを活用しながら取り組んだ。中学部の体験実習（作業週間）における職場と連携した事例や、中学部から高等部に至るまで大学にあるリソースを活用して職場体験や現場実習を重ねた事例をもとに、関係機関と連携し、キャリア発達の支援を大切にしたい進路や作業学習、現場実習の系統的な取り組みの在り方について検討していきたい。

【指定討論者の趣旨】

以上の話題提供を受けて、丹野氏には、文部科学省の「キャリア教育・就労支援等の充実事業」の成果等も踏まえた今後、特別支援学校に期待される進路指導・就労支援について、橋本氏には、生涯を見据えた特別支援学校における授業づくりについてご意見をいただく予定である。

フロアの意見も交えながら、学校教育における進路指導・就労支援のあり方について討論を深めていきたいと考える。

(ODAKA Kunio, NAGAI Takao,
SANO Tetsuhiro, KISHIMOTO Tadanobu,
TANNO Tetsuya, HASHIMOTO Souichi)